

令和5年度 第4回文化財専門審議会

議 事 録（抄録）

日 時 令和6年（2024年）1月12日（金）9時30分～11時30分

場 所 横須賀市役所正庁

参加者 文化財専門審議会委員 〈敬称略〉

委員長 平田大二 : 地質 神奈川県立生命の星・地球博物館館長

委員 岩橋春樹 : 絵画 元総持寺宝物殿館長

勝山輝男 : 植物 元神奈川県立生命の星・地球博物館主任学芸員

劔持輝久 : 考古・郷土史 赤星直忠博士文化財資料館館長

正垣孝晴 : 地盤工学・土木史 元防衛大学校教授

瀬谷貴之 : 彫刻 神奈川県立金沢文庫主任学芸員

水沼淑子 : 建造物 関東学院大学名誉教授

矢島國雄 : 考古 明治大学名誉教授

安室知 : 民俗 神奈川大学大学院歴史民俗資料学科研究科
日本常民文化研究所教授

（欠席）永井晋 : 古文書 関東学院大学国際文化学部客員教授

事務局：横須賀市教育委員会教育長 新倉聡

横須賀市教育委員会教育総務部長 古谷久乃

横須賀市教育委員会生涯学習課長 柿原美奈、同主査 川本真由美、担当者 青木微笑

内容 〈敬称略〉

1. 開会

委員長挨拶・教育委員会挨拶

2. 議事 指定重要文化財等の答申について

（1）指定重要文化財等の指定について

ー 委員長より1件の答申があった ー

1. 板著色 火伏せ不動明王図額（絵馬）

教育長が答申書を受理した。

事務局より、指定後のスケジュールを説明した。

3. 報告 円通寺跡・深谷やぐら群の調査状況

令和5年7月と11月に実施した円通寺跡・深谷やぐら群の発掘調査の概要報告及び遺跡の研究史について事務局より報告を行った。

矢島：来年度も継続して調査を実施するのか。

事務局：その予定である。

平田：中世より古い時代は見つかっているのか。また、谷の埋め土に災害の痕跡はあるか。

事務局：中世より古い時代のものは見つかっていない。埋め土に災害の痕跡も見つかっていない。

剣持：現在コンクリートで閉塞された弾薬庫自体の調査はするのか。

事務局：予定はない。しかし、昨年度の分布調査の際に山の上で戦前の高射機銃の陣地跡と推測される場所を確認している。また、土地の購入自体は海軍と赤星先生の記録にあるが、山中の地帯標には陸軍とあり、この点は未解明である。

瀬谷：1号やぐらは、横穴墓になるのか。

事務局：それは分からない。ただ、古墳時代の横穴墓にしては標高がやや高すぎると思う。また、1号やぐら室内の壁面には漆喰がきれいに塗られており、江戸時代の改修時のものと推測している。ただ、その改修の際にわざわざ掘削までして拡張して室を作るかというと考えにくいのではないか。

質疑応答終了後、審議会を終了した。